



# ぶらうに一おばさんニュース 植中みやこ[湖南省議会議員]

2020年1月

第58号

発行責任者 黄瀬 昇

## くらしのねがいを市政に!



福祉のまちづくり

BROWNIE...

ブラウニーは、伝説の中に出てくる妖精です。疲れている人、困っている人の仕事をこっそり、ひそかに手伝うと言われています。『ブラウニーのようにまちの人たちのために働きたい』植中みやこの願いです。

新年おめでとうございます。

いつもさまざまなところで、ご厚情とご指導を頂きましてありがとうございます。本年も皆さまのご健康とご多幸をお祈り申し上げます。昨年も、各地で多くの自然災害が発生しました。被災された方々の一日も早い、日常生活の復旧・復興を願っています。

環境 NGO は、近年の異常気象の被害を受けたのは「日本が一番大きい」と報告しています。想定外と言われた自然災害と、それに伴うあらゆる方面への被害の拡大が、より身近なものになってきました。災

害の教訓からの備えるべき課題は、多方面にわたっています。また、多額の資金を必要とするハード事業には限りがあり、どれもこれも一朝一夕にできるものではありません。けれど、自分たちの平穏な日常に感謝して、市民の皆さまとともに、いっそう防災・減災のとりくみを再確認し、力を合わせて進めていかなければならないと考えています。

### 〈12月議会報告〉

4月からは、公立の幼稚園・こども園・保育園のうち6園が民間へ移管されます。移管先と協定は結んでいますが、民間の特色を出しつつも、公立の幼児保育教育の長所をしっかりと引き継いでもらうよう、注視していかなければなりません。また、非正規雇用の職員については、会計年度任用職員に変わりますが、「同一労働・同一賃金」「労働条件と不安定雇用の改善」という趣旨が、十分に活かされるような運用を要望しました。

東庁舎の耐震改修は、国の災害拠点施設整備事業の交付金が延長されたことや、資機材・労務費の高騰等で、実施設計の完了を2年3月末まで延長することとなりました。



ご相談もお受けしています

“何でも相談”安心ネットワーク

代表 植中みやこ

何でも困ったことは、お気軽にご相談ください。

プライバシーは絶対に守ります。

TEL

FAX 0748-74-1060

<http://www9.plala.or.jp/u-miyako/>

## 【一般質問】

### 防災・減災の意識・知識の共有から行動へ

【問】「自助なくして共助なし」自分が無事なら人を助ける余力があります。「自分の命は自分で守る」啓発を

【答】防災出前講座を中心に、防災意識の啓発や災害種別によって避難する経路・場所・タイミング等、取るべき行動や避難所が違ふことの理解、周知をしていきます。



自分でつくる  
安心防災帳

【問】国の水防法改正で、最大雨量のリスク想定が千年に一度のレベルになったが

【答】市の地域防災計画は、直近に発生した災害への対応や教訓、防災訓練での成果や問題点等を反映して、毎年見直しています。防災マップの改定は、県の安全度マップを活用し、来年度に検討します。各区の地区防災計画はまだ少ないが、女性の視点や障がいのある人・外国人等、災害時に要配慮者となる当事者の声も反映します。

【問】法改正による防災重点ため池の対策は

【答】17ヶ所のハザードマップを、元年度までの3ヶ年で作成します。12月補正予算では西寺地区鷲尾池の漏水対策事業をあげています。

【問】災害廃棄物の処理計画は

【答】種類や発生量、一時保管場所、受け入れ方法等のガイドラインを作成し、段階的に

取り組んでいきます。

【問】災害時避難行動要配慮者の対応体制

【答】個別支援プランの対象者は、元年11月末で700名、個人情報提供の同意確認者のうちプラン作成済みは59名です。郵送では同意確認が少なく、福祉事業所に制度の趣旨を説明して協力依頼をしています。福祉避難所は、市内44ヶ所の高齢・障がい事業所と協定し、ホームページで公表しています。浸水想定施設は、高齢者施設5、障がい者施設2です。

【問】小中学校の防災教育は

【答】2年度から、防災部局と連携した防災教育を行います。災害時の児童引き渡し訓練は、保護者の「自分で自分の命を守る」意識にも効果があったと思われます。学校には、地域の防災訓練との連携を指示しています。



わかりやすい  
防災絵本

### 学校の食品ロス削減教育

【答】欠食と学力の相関関係が明確になるなど、子ども時代からの食育は大切です。小中学校の給食では「バランス良く食べること。生産者への感謝。食材となる命を頂いている理解」等を指導しています。それでも年間35トンの残飯がでており、リサイクル業者が堆肥化して、農業肥料に利用しています（「ぶらうにーおばさんのぽけっとから」もご参照ください）。

## ぶらうにーお婆さんの ぼけっから



元年 10 月に「食品ロス削減推進法」が施行されました。先進国を中心に、毎年、世界の食糧の三分の一が廃棄されています。世界の穀物生産量は、毎年 26 億トンあり、在庫分を入れれば、世界人口 77 億人を賄うのに十分な量です。けれども、報道でもみるように、地域によっては、9 人に 1 人が慢性的な栄養不足に苦しんでおり、今も増え続けています。世界人口のうち、8 億人が飢餓状態、19 億人が食べ過ぎで、食べ過ぎのうち 6 億人は肥満といわれています。

食料自給率がカロリーベースで 37%と低い日本も、年間約 643 万トン、国民一人が毎日茶碗一杯分のご飯を捨てている(そのうちの 4 割は家庭からの廃棄)ような状況で、まさに「フードロス大国」!!です。

民間分野では、国連の「持続可能な開発目標 (SDGs)」の考え方にそって、すでに、さまざまな取り組みがはじまっています。食べ物を捨てることは、生産時に使った大量の水や、土壌などの資源を無駄にすることでもあります。また、長距離輸送による、新鮮な食材が手に入る便利さと引き換えに、二酸化炭素を排出する負荷も増えます。先頃の皇室のお代替わりの大嘗祭のお供え物、奉納された農林水産物や全国から寄せられた特産品も、今までのように土に返す「埋納」ではなく、神事のあとに有効活用されると報道されていました。

市の、環境基本計画には、基本目標「低炭素、循環型のまち」の項、「ごみ減量・リサイクル推進」の中に、一部食品ロス削減対策が入っています。生活困窮の相談者には、フードバンク等支援団体の情報提供もしていますが、フードドライブ等も含め、積極的な取り組みがのぞまれます。

子ども時代から、何をどう選択するか、賢い買物、公正で倫理的な買物の考え方「エシカル消費」を広めていきます。



農福連携と自立にむけて

植中みやこを育てる会

会長 黄瀬 昇

新年明けましておめでとうございます。平素より当会の活動にご支援ご指導賜りまして、心より感謝申し上げます。今年は新しくスタートする年で、新しい運気の始まりが期待出来ます。今年も、成長に向かって、真面目にコツコツと過ごしたいものです。

数年前より、就労支援事業所の立上げに先立ち、農福連携により高齢者・障がい者に就労の機会をと「チャレンジファーム」の活動をしております。皆様には、もみじ玉子やコナンハニー(蜂蜜)を購入頂いて、我々の活動にご協力頂いておりますこと、誠に有難うございます。

「農福連携」とは、一口で言いますと「障がいのある人が、農業を支える」農業の主役・担い手になって頂くことだと言えます。ほんの少し手助けすることによって仕事に就ける、そして生きがいを持って人生を過ごせる、そんな湖南市にしたいものです。

植中議員もこの活動を全面的にバックアップしています。誰もが安心して子育てできるように、全国で初めて「発達支援システム」をつくった福祉の湖南市が「農福連携・就労支援」でも全国の先頭になるように、引っ張って貰いたいと願っています。多くの皆様がこの活動にご理解頂き、より多くの障がいのある人が就労できるように、本年もご協力をよろしくお願い申し上げます。



湖南省議会議員  
(前議長)  
松原 栄樹

明けましておめでとございます。  
市民の皆様には希望に満ちた新年をお  
迎えることとお慶び申し上げます。

さて、私、松原栄樹は昨年十一月の議  
会において議長を退任させていただきました。  
今任前半の二年間（前任期から  
通算四年間）、地方自治体二元代表制の一  
翼を担う議会の長として、市民の皆様と  
共にまちづくりに参加できるような取り  
組み、開かれた議会・身近な議会を目指  
した議会改革に力を注ぎ、「フォア・ザ・  
湖南省”の思いで市政に邁進してまいり  
ました。

無事、議長職を退任できましたのも偏  
に市民の皆様、議員の皆様、市執行部の  
皆様のお陰と感謝申し上げます。今後も  
住民福祉の向上のため、議員活動に努力  
することを約束申し上げます。同志、植中  
みやこさんの紙面をお借りして御礼申し  
上げます。

植中みやこ活動日誌(元年 10月～12月)

- |   |   |
|---|---|
| <p>10/ 1 議会本会議<br/>議会事務事業評価結果を市長に提言<br/>3 介護予防サロンボランティア<br/>湖南省障がい児者団体連絡協議会の<br/>要望書を市に提出<br/>精神保健相談業務<br/>4 身体障害者手帳相談業務<br/>議会決算常任委員会<br/>5 市政 15周年記念式典<br/>6 ひかり幼稚園運動会<br/>地域歴史資料相談業務<br/>7 甲賀病院組合議会<br/>身障者更生会クラブゴルフ大会<br/>10 就労相談業務 福祉法人後援会活動<br/>14 グループホーム宿泊ボランティア<br/>17 議会運営委員会<br/>18 災害ボランティアセンター運営隊会議<br/>20 農福連携勉強会<br/>21 菩提寺歴史文化資料室運営協議会<br/>県道改修相談業務<br/>22 精神保健相談業務<br/>23 甲賀病院監査 県道改修相談業務<br/>24 ケアハウスボランティア<br/>25 議会運営委員会 県市議長会研修<br/>介護相談業務<br/>26 甲賀病院 80周年記念式典<br/>27 菩提寺まちづくりフェスタ<br/>県道改修相談業務<br/>28 議会運営委員会<br/>30 市議長会広報広聴研究会<br/>31 身体障害者手帳相談業務<br/>11/ 2 菩提寺まち協グラウンドゴルフ大会<br/>5 臨時議会<br/>6 さつき会評議員会<br/>7 介護予防サロンボランティア<br/>9 菩提寺小学校 40周年記念式典<br/>菩提寺歴史文化資料室歴史講座<br/>11 就労相談業務<br/>12 精神保健相談業務 市民活動相談業務<br/>13 菩提寺小学校クラブ活動ボランティア<br/>14 市議長会広報広聴研究会</p> | <p>15 災害ボランティアセンター運営隊会議<br/>就労相談業務<br/>17 防災士連絡会設立総会<br/>19 進路相談業務<br/>21 菩提寺歴史文化資料室運営協議会<br/>22 介護相談業務<br/>24 みちくさコンパス<br/>25 身障者更生会研修旅行<br/>介護相談業務<br/>26 議会全員協議会 県道改修相談業務<br/>27 菩提寺小学校クラブ活動ボランティア<br/>28 ケアハウスボランティア 就労相談業務<br/>29 農福連携勉強会<br/>30 こどもへの暴力防止研修会<br/>12/ 1 障がい者週間啓発活動<br/>2 議会本会議 介護予防ボランティア<br/>7 人権相談業務<br/>9 議会本会議(一般質問)<br/>障害年金相談業務<br/>10 議会本会議 予算常任委員会<br/>12 議会総務常任委員会<br/>市民活動相談業務<br/>15 三雲駅開業 130周年・周辺整備事業<br/>完成記念式典<br/>16 精神保健相談業務<br/>18 議会庁舎整備特別委員会<br/>19 介護予防ボランティア<br/>20 議会本会議<br/>災害ボランティアセンター運営隊会議<br/>21 湖南省障がい児者団体連絡協議会<br/>役員会<br/>22 精神保健相談業務<br/>農福連携勉強会<br/>24 ケアハウスボランティア<br/>25 介護予防ボランティア<br/>29 消防年末特別<br/>警戒慰問</p> |
|---|---|

